

令和4年度 行政評価結果

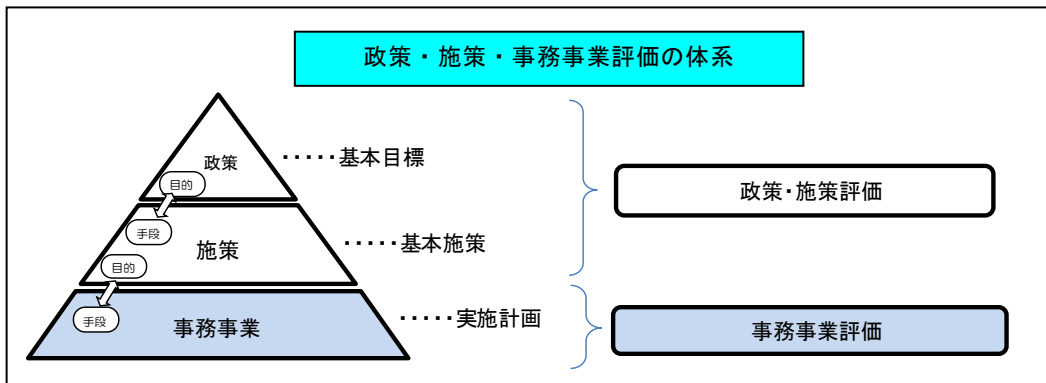
1 行政評価について

(1) 趣旨

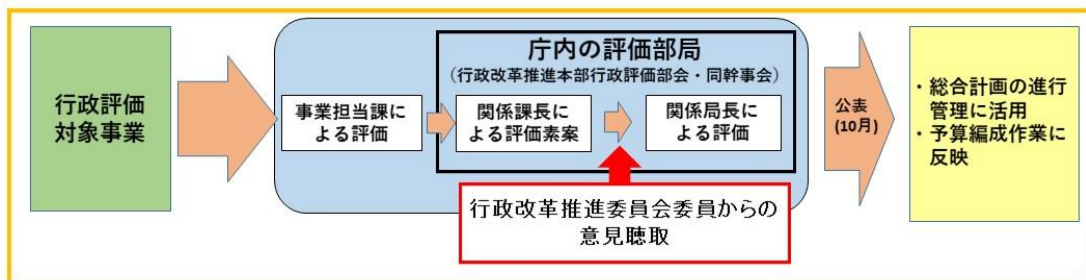
本市総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営の実現を図る。

(2) 対象

第六次鹿児島市総合計画前期基本計画に基づく第1期実施計画（令和4年度～6年度）に掲載されている事務事業を対象に評価を実施



(3) 事務事業評価の流れ



① 一次評価

事業担当課による評価を実施

② 二次評価

行政改革推進委員会委員からの意見聴取、行政評価部会・同幹事会による評価を実施

※成果重視型の行財政運営の実現を図るため、行政評価においても、EBPM（データに基づく政策立案）の考え方を取り入れ、ロジックモデル（政策の目的達成までの論理的なつながりを示すもの）により因果関係を明示するなど、事業の成果をより見える化するるとともに、事業の見直しを進める。

2 令和4年度 評価結果

第六次鹿児島市総合計画前期基本計画における第1期実施計画に掲げる事務事業の中から、見直す必要性の高い事業（11事業）を選定

No	事業名	事業担当課	評価結果
1	職員研修事業	人事課	A：継続
2	ネクスト”アジア・鹿児島”イノベーション戦略推進事業	アジア戦略室	B：見直し
3	特設防犯灯設置事業	安心安全課	B：見直し
4	医療費通知事業	国民健康保険課	B：見直し
5	学校版環境ISO認定事業	環境保全課	B：見直し
6	高齢者住宅改造費助成事業	長寿支援課	B：見直し
7	保育料納入促進事業	保育幼稚園課	B：見直し
8	にぎわい商店街づくり支援事業	産業支援課	F：廃止
9	グリーンツーリズム施設管理事業	世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課	A：継続
10	こどもまちづくり探検隊開催事業	都市計画課	B：見直し
11	火災予防思想啓発「消防スケッチ大会」事業	消防局予防課	A：継続
	見直し率		73%

評価区分	内容
A：継続	引き続き改善・工夫に努めながら継続する
B：見直し	事業の実施方法等を見直す必要がある
C：統合	事業の統合を検討すべき
D：縮小	事業規模を縮小する必要がある
E：休止	制度は必要だが、事業を休止すべき
F：廃止	制度自体を廃止すべき
G：終了	事業の終期に合わせて、終了すべき

ロジックモデル

【〇〇局 〇〇課】

【事業概要】

・〇〇〇〇

(基本目標:〇〇〇〇 / 基本施策:〇〇〇〇 / 単位施策:〇〇〇〇)

【事業評価】⇒〇〇〇〇

〇〇〇〇

アウトプット＝行政活動
アウトカム＝活動成果・効果
インパクト＝波及効果

(インプット)

〇年度:〇千円(決算額)

(アクティビティ)

〇〇設備の導入を補助

〇〇を開催

活動内容を明確に記載

(アウトプット)

〇〇設備導入件数増

〇年度:〇件
〇年度:〇件

〇〇の開催

〇年度:〇回
〇年度:〇回

(アウトカム)

A産業の生産性上昇

A産業の生産性
(〇年度比)

〇年度:+〇%
〇年度:+〇%
〇年度:+〇%

必要に応じて、初期・中期・長期
アウトカムに分けて記載

(インパクト)

A産業の国際競争力の
向上

- ・事業のもたらす効果・影響が明確に分かるよう記載
- ・把握できるデータに振り回されず、あるべきロジックモデルの流れを検討する。

【事業概要】

- ・職員が公務員としての使命と責任を自覚し、市民本位の立場を堅持し、職務遂行能力を高めることにより、市民の信託に応える職員を育成するため、各階層別に実施する基本研修、専門的知識及び技能を習得させる専門研修等の研修を実施する。
- (基本目標：信頼とやさしさのある共創のまち / 基本施策：自主的・自律的な行財政運営の推進 / 単位施策：人材育成の推進)

【事業評価】 ⇒ A：継続

職員の職務遂行能力の向上及び市民から信頼される職員の育成に必要な事業である。
 なお、今後もより一層、時勢に合わせた内容やICTを活用した手法の見直しに努めること。

(インプット) → (アクティビティ) → (アウトプット) → (アウトカム)

R元年度：25,559千円
 R2年度：12,044千円
 R3年度：12,514千円

研修の実施

地方公務員法の規定により、
 昭和31年から実施

- 基本研修
 - ・一般職員研修
 - ・監督者研修
 - ・管理職研修
- 専門研修
- 派遣研修 など

各年度の実施件数内訳

年度	基本研修	専門研修	その他研修
R1	31	37	3
R2	17	33	3
R3	23	22	3

研修の修了者数

(延べ人数)

R元年度：3,401人
 R2年度：1,822人
 R3年度：2,908人

※目標値＝実績値

職員研修実施件数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	70	71	101%
R2	70	53	76%
R3	70	48	69%

(初期)

研修内容に対する理解が深まる

【今後の数値目標について】
 これまで、研修後のアンケートにおいて「研修が適切だったか」の項目は設けていたが、4年度途中から項目を見直し、「研修内容に対する理解度（研修後のアンケートにおける「理解した」割合）」の数値目標を今後設定

(中・長期)

職員の職務遂行能力の向上及び市民から信頼される職員の育成

(インパクト)

多様化する市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応し、効率的で質の高い行政サービスを展開

【これまでの見直し実績 (R1～)】

- ・コンプライアンス研修 (eラーニング) を追加
- ・新任係長研修 (コーチング研修) に、フォローアップ研修を追加 (R2～)
- ・採用3年目、5年目研修に市長講話を追加 (R3～)
- ・新任課長研修に男女共同参画社会と本市の取組を追加 (R4～) など

【事業概要】

- ・アジアとの多面的な交流を成長エンジンとして、鹿児島の新たな活力を生み出すため、令和4年3月に改定した「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」（以下、「戦略」という。）を推進する。
- （基本目標：信頼とやさしさのある 共創のまち / 基本施策：多角的な連携・交流の推進 / 単位施策：大学や事業者等との連携の推進）

【事業評価】 ⇒ B：見直し

ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略の推進のために必要な事業であるが、海外情勢等により補助対象団体が達成した成果目標数が低調となる中、戦略全体の関連事業数は増加してきていることから、補助金による事業者支援については、新型コロナによる影響やアフターコロナも考慮しつつ、ニーズや成果の検証を踏まえ、要件の緩和など効果的な実施手法に見直すべきである。また、同戦略は複数の分野にまたがる計画であることから、推進にあたっては、関係課との役割分担などを改めて整理すべきである。

(インプット)

R元年度：4,453千円
R2年度：3,467千円
R3年度：2,187千円

(アクティビティ)

- 関係機関の連携・調整
(戦略会議開催、庁内関係課との連携)
- 補助金による事業者支援

- ・戦略を推進し、今後のモデルとなる事業への補助
- ・補助額は1件あたり上限1,000千円(補助率2分の1)
- ・補助期間は最大2年度

補助金については、新型コロナの影響や海外現地情勢の影響により対象事業の中止や縮小を余儀なくされる事例が多い。

(アウトプット)

■戦略の関連事業・取組数

R元年度：108件
R2年度：114件
R3年度：122件

※目標値=実績値

■補助金の執行率

年度	目標値	実績値	達成率
R1	100	64	64%
R2	100	46	46%
R3	100	20	20%

(インパクト)

- ・市民レベルの国際化
- ・“稼ぐ観光”の実現
- ・市内事業者の海外展開

(アウトカム)

■国際交流事業への参加者数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	13,200	13,675	104%
R2	13,200	1,521	12%
R3	13,200	1,613	12%

■アジアからの外国人宿泊観光客数(万人)

年	目標値	実績値	達成率
R1	30.0	36.2	121%
R2	30.0	5.0	17%
R3	30.0	0.2	1%

■本市の事業活用によるアジアへの海外展開に伴う商談成約件数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	30	12	40%
R2	30	17	57%
R3	30	17	57%

※目標値、実績値はH30からの4か年の合算値
※R3は事業休止

■補助対象団体が達成した成果目標数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	14	5	36%
R2	14	6	43%
R3	9	1	11%

特設防犯灯設置事業

【危機管理局 安心安全課】

【事業概要】

・夜間における犯罪の防止と市民の通行の安全を図り、明るく住みよいまちづくりを推進するため、特設防犯灯を設置する。
(基本目標：自分らしく健やかに暮らせる安心安全なまち / 基本施策：生活の安全性向上 / 単位施策：市民総ぐるみの防犯対策の推進)

【事業評価】 ⇒ B:見直し

夜間の犯罪防止と市民の通行の安全のために必要な事業であるが、設置灯数が減少傾向にあることから、地域の安心安全の担い手の状況やニーズも踏まえ、より利用しやすい制度に見直すべきである。

(インプット)

R元年度:1,815千円
R2 年度:1,548千円
R3 年度:36千円

(アクティビティ)

- ・町内会等と町内会等との「はざま」の必要箇所(地域住民が通学、通勤等において日常通行している場所)に、市が防犯灯を設置
- ・設置後の維持管理は申請した町内会等が実施

【地域の安心安全の担い手】

名称	団体数
町内会	782
地域コミュニティ協議会	79

など

(アウトプット)

■特設防犯灯の設置灯数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	22	10	45%
R2	18	9	50%
R3	13	1	8%

(実績値参考)
H29年度:23灯
H30年度:22灯

新型コロナウイルスの影響等による町内会活動の縮小により、町内会が住民の要望を把握することが困難になっている。

(アウトカム)

- 市民の通行の安全
- 夜間における犯罪の防止

■刑法犯認知件数

R元年:2,674件
R2年:2,509件
R3年:2,289件

※目標値=実績値

(インパクト)

生活の安全性の向上
安心感に満ちた、安全で暮らしよい
まちづくりの推進

医療費通知事業

【市民局 国民健康保険課】

【事業概要】

- ・医療費に対する理解と関心を高め、正しい受診、健康への自覚と認識を喚起するため、国民健康保険加入世帯に対し、医療費通知を送付する。
- (基本目標：自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち / 基本施策：地域共生社会の実現 / 単位施策：社会保障制度の円滑な運営)

【事業評価】 ⇒ **B：見直し**

医療費に対する理解・関心を高め、医療費の適正化を図るために必要な事業であるが、県の交付金交付基準の変更や国保の財政状況を踏まえ、通知内容や時期、回数などを工夫するなど、見直しを行うべきである。

【通知回数による想定経費概算】

4回：27,871千円
2回：11,794千円

(インプット)

R元年度：21,254千円
R2年度：20,524千円
R3年度：20,948千円

(アウトプット)

通知枚数
R元年度：297,785枚
R2年度：280,483枚
R3年度：283,484枚
※目標値＝実績値

(アウトカム)

一人当たりの医療費
※対前年度の伸び率2.1%以内

年度	目標値	実績値	達成率
R1	461,923	461,923	100%
R2	471,000	461,149	102%
R3	480,800	483,288	99%

(アクティビティ)

■医療費通知の送付

- ・対象者：国民健康保険加入全世帯
- ・通知回数：4回(4・7・10・1月)

※県の交付金交付基準の変更により、平成30年度に通知回数を年6回→4回に変更

鹿児島県国民健康保険保険給付費等交付金

	交付基準 (通知回数)	交付基準額 (通知世帯数× 郵便料金)
～R3年度	年4回以上	10/10
R4年度～	年1回以上	・1回目の通知 →10/10 ・2回目以降の通知 →1/2

参考

H28年度：421,291円
H29年度：431,358円
H30年度：448,984円

(インパクト)

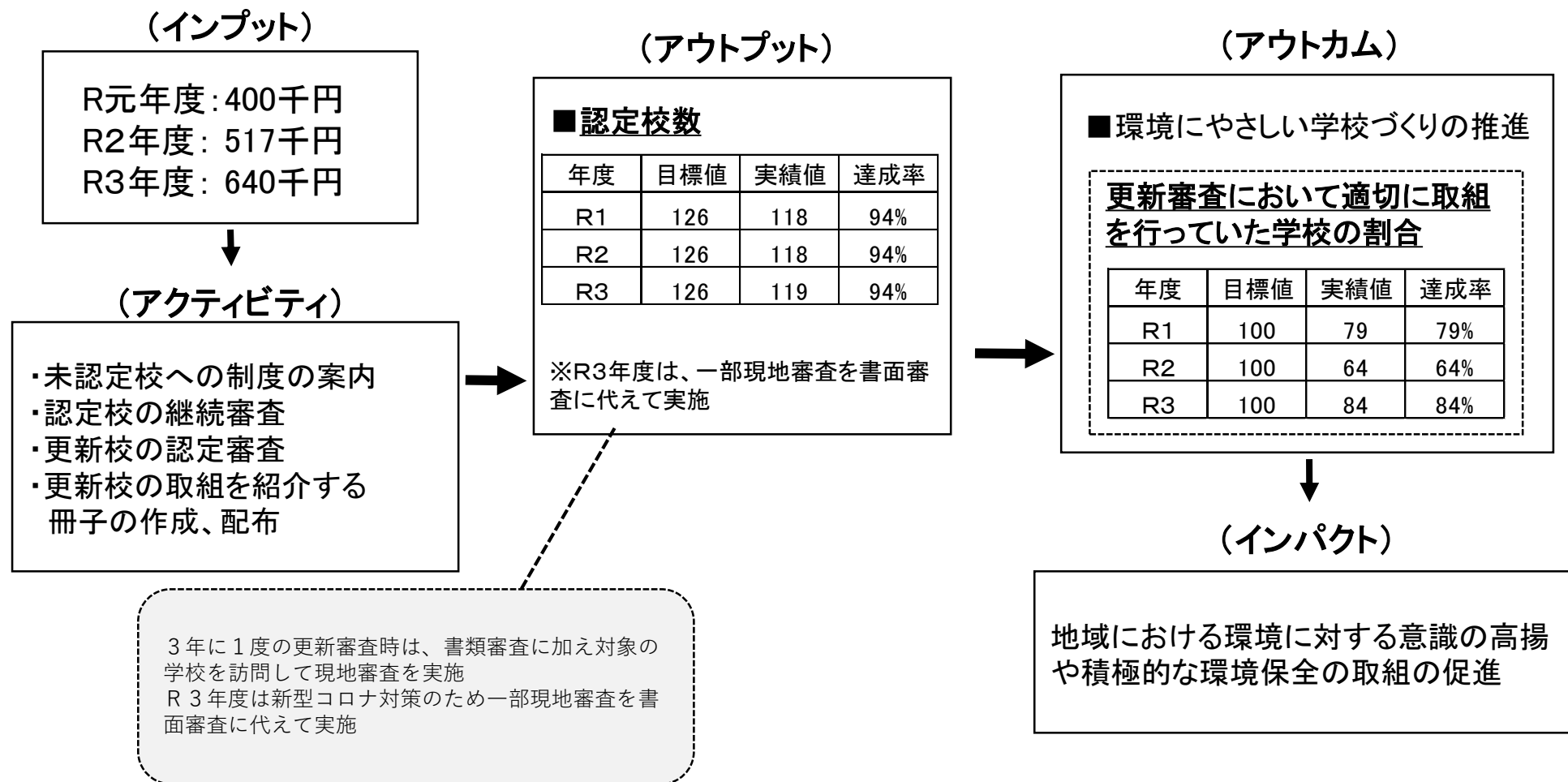
医療費適正化による
国民健康保険事業の
安定的な運営

【事業概要】

- ・環境にやさしい学校づくりの推進のため、国際規格「ISO14001」の考え方を取り入れた学校版環境ISO認定制度を実施する。
(基本目標：自然と都市が調和した うるおいのあるまち / 基本施策：ゼロカーボンシティかごしまの推進 / 単位施策：エコスタイルへの転換)

【事業評価】⇒ **B：見直し**

環境に対する意識の高揚や、環境保全の取組促進に必要な事業であるが、適切に取組を行っている学校の割合は高まっていることから、認定審査や冊子の作成・配布についてはデジタル化・省力化を図るなど、見直しを行うべきである。



【事業概要】

- ・高齢者等の自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図ることを目的に、高齢者等又は高齢者等の属する世帯の生計中心者に対し、住宅改造助成金を交付する。
(基本目標：自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち / 基本施策：高齢化対策の推進 / 単位施策：高齢者の安心・快適な暮らしの確保)

【事業評価】 ⇒ B：見直し

高齢者等の自立促進や介護者の負担軽減等を図るために必要な事業であるが、今後申請件数の増加が見込まれることから、費用対効果や類似の補助制度と比べて補助率等が高い状況も踏まえ、補助内容を見直すべきである。

(インプット)

R元年度：74,842千円
R2年度：66,656千円
R3年度：69,162千円



(アクティビティ)

【対象者】

- ・本市に居住する高齢者又は重度身体障害者
- ・本市に居住する高齢者又は重度身体障害者の属する世帯の生計中心者

【対象経費】

- ・日常生活の利便を図るために、住宅の居室、浴室等の設備及び構造を高齢者等に適応するように改造するための経費(1,000千円上限)

【助成金額】

- ・対象経費の3分の2(666千円上限)

(アウトプット)

■補助金支給実績

(補助件数)

年度	目標値	実績値	達成率
R1	161	146	91%
R2	152	135	89%
R3	135	139	103%

補助対象となる介護認定者数等は増加傾向にあることから、当事業の申請件数も増加が見込まれる。

■対象者数

R1年度：48,491人
R2年度：49,146人
R3年度：49,397人



(アウトカム)

高齢者等の自立促進、寝たきり防止予防及び介護者の負担軽減

- 第六次総合計画指標「高齢者が住み慣れた地域で、地域の支援やサービスを利用しながら、安心して暮らしている」と感じる市民の割合
R3年度：37.1%



(インパクト)

高齢者や障害者が安心して生活できる環境の充実

【事業概要】

・ 保育所の安定した運営のため、保育料収納嘱託員による収納強化や納入しやすい環境整備などにより、保育料収納率の向上を図る。
 (基本目標：豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち / 基本施策：少子化対策・子育て支援の推進 / 単位施策：幼児教育・保育の充実)

【事業評価】 ⇒ **B:見直し**

保育料収納率の向上や安定した保育所運営を図るために必要な事業であるが、費用に見合った収納強化となっていない部分もあることから、効率的な実施内容に見直すべきである。

(インプット)

R元年度：11,608千円
 R2年度：10,641千円
 R3年度：11,965千円



(アクティビティ)

保育料の滞納縮減に努めるとともに、納入しやすい環境を整える。

- ① 保育料収納嘱託員による収納強化
- ② 児童手当からの徴収
- ③ 保育所施設長による納入勧奨指導
- ④ お知らせセンターによる架電
- ⑤ 納入しやすい環境整備



(アウトプット)

① 保育料収納嘱託員による収納強化

(訪問回数・徴収金額・人件費)

R元年度：4,243件・1,976,170円・2,810,639円
 R2年度：2,392件・1,460,530円・2,282,400円
 R3年度：2,085件・2,039,520円・4,374,600円

※目標値＝実績値

② 児童手当からの徴収

(徴収件数・徴収金額)

R元年度：217件・13,656,080円
 R2年度：155件・9,157,340円
 R3年度：123件・7,681,740円

※目標値＝実績値

③ 保育所施設長による納入勧奨指導

(納入勧奨指導件数)

R元年度：7,776件
 R2年度：5,379件
 R3年度：4,885件

※目標値＝実績値

④ お知らせセンターによる架電

納税課所管のお知らせセンターにて滞納者への電話による納付勧奨

⑤ 納入しやすい環境整備

R3年度からモバイル決済を導入

収納嘱託員の訪問回数の減少
 民間委託の余地 (厚労省通知)

(アウトカム)

■ 保育料収納率の向上

目標値：前年度比、0.01パーセントの上昇

○ 現年度分

年度	目標値	実績値	達成率
R1	98.40	98.39	100.0%
R2	98.40	98.87	100.5%
R3	98.88	98.79	99.9%

○ 滞納繰越分

年度	目標値	実績値	達成率
R1	28.60	23.85	83.4%
R2	23.86	20.23	84.8%
R3	20.24	21.82	107.8%

滞納繰越分の収納率の減少



保育料収納率の向上により、財源確保に努め、保育所の安定した運営を図る

(インパクト)

保育の充実

にぎわい商店街づくり支援事業

【産業局 産業支援課】

【事業概要】

- 本市の商店街の活性化のために、経営者に対する実態調査や来街者の意識調査等の各種調査を行い、課題等を分析する商店街診断の実施や診断結果を踏まえて、改善策を検討し、活動計画等を策定する商店街の取組に対し支援する。
(基本目標：魅力にあふれ人が集う 活力あるまち / 基本施策：地域産業の活性化 / 単位施策：地域を支える産業の成長促進)

【事業評価】 ⇒ **G：廃止**

事業開始から15年が経過し、商店街のニーズ変化に伴い、近年実績もなく、事業の必要性が低下していることから、当事業は廃止すべきである。

(インプット)

R元年度：1,091千円
R2年度：0千円
R3年度：0千円

(アクティビティ)

■ 予算策定期間に対象団体に周知を行う

【対象】

- ・商店街振興組合、任意の通り会
- 【支援事業のメニュー】
- ・商店街診断
- ・商店街づくり計画策定

■ 申請団体からの診断ニーズを踏まえた業者の選定

■ 商店街診断の実施

■ 活動計画の策定

(アウトプット)

商店街診断を実施、または活動計画等を策定した団体数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	1	1	100%
R2	1	0	0%
R3	1	0	0%

(課題)

当事業で策定した計画を反映させる「頑張る商店街支援事業」の総合支援型は令和3年度で廃止（個別支援型は引き続き実施）となり、事業の存在意義が薄くなっている。

(アウトカム)

市内8地区(47商店街)における空き店舗率

年度	目標値	実績値	達成率
R1	10.6%以下	9.9%	107%
R2	10.5%以下	11.6%	91%
R3	10.4%以下	10.5%	99%

(インパクト)

魅力ある商店街づくり・活性化

グリーン・ツーリズム施設管理事業

【観光交流局 世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課】

【事業概要】

- ・都市と農村地域の交流促進を図るため、農産物直売所を核とする各グリーン・ツーリズム施設（輝楽里よしだ館、火の島めぐみ館、八重の里）について、ソフト面・ハード面の充実を図るとともに、施設の維持管理を行う。
- （基本目標：魅力にあふれ人が集う 活力あるまち / 基本施策：地域特性を生かした観光・交流の推進 / 単位施策：オンリーワンの魅力創出）

【事業評価】 ⇒ **A：継続**

都市と農村地域の交流促進や生産者の所得向上などに必要な事業である。
 なお、アフターコロナの対応検討の他、民間活力の活用の観点から施設の中長期的なあり方についても検討すること。

(インプット)

R元年度 : 5,638千円
 R2年度 : 6,527千円
 R3年度 : 7,395千円

(アクティビティ)

【施設の維持管理】

- ・施設修繕
- ・浄化槽維持管理
- ・トイレ清掃
- ・除草業務 等

※農産物直売所の運営は地元農家を中心とした組合

(アウトプット)

【施設の開所日数】

年度	目標値	実績値	達成率
R1	1,012	1,007	99.5%
R2	1,010	963	95.3%
R3	1,010	738	73.1%

※コロナの影響による休館は次のとおり
 R2年度: 44日間
 R3年度: 36日間

(アウトカム)

【3施設の利用者数】

年度	目標値	実績値	達成率
R1	242,899	211,380	87%
R2	248,728	148,547	60%
R3	254,698	157,892	62%

【3施設の売上額】

目標値: 前年度比2.4%増
 (グリーンツーリズム推進計画に基づく)

(単位: 千円)

年度	目標値	実績値	達成率
R1	299,002	274,340	92%
R2	306,178	179,567	59%
R3	313,526	197,088	63%

(インパクト)

- ・都市と農村地域の交流促進
- ・地元農産物生産者の所得向上
- ・農村地域の活性化

施設の大半を行政財産の目的外使用にしている。
 今後、民営の農産物直売所とのバランスも考慮する必要がある。

こどもまちづくり探検隊開催事業

【建設局 都市計画課】

【事業概要】

・子どもたちのまちづくりへの興味や関心を高め、都市計画の基礎知識などを楽しく学ぶ場として「こどもまちづくり探検隊」を開催
 (基本目標：質の高い暮らしを支える 快適なまち / 基本施策：機能性の高い都市空間の形成 / 単位施策：きめ細かで質の高い土地利用の推進)

【事業評価】 ⇒ **B:見直し**

将来を担う子どもたちのまちづくりへの興味や関心を高めるために必要な事業であるが、参加人数が限られていることから、ICTを活用した情報発信など、参加者以外にも興味や関心が広がるような事業内容に見直すべきである。

(インプット)

R元年度：331千円
 R2年度：0千円
 R3年度：0千円



(アクティビティ)

こどもまちづくり探検隊の開催

バスで市内の各所を巡り、タウンウォッチングを行いながら、まちづくりの課題や魅力を探るイベント

対象者：小学5・6年生、中学生
 時期：夏休み
 回数：年1回

※2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(アウトプット)

こどもまちづくり探検隊の参加人数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	120	127	106%
R2	—	—	—
R3	—	—	—

(実績値参考)
 29年度：128人
 30年度：127人

・事業開始から20年が経過し、見学対象となる公共事業の現場が少なくなってきたことなどから、今後の事業の進め方について検討が必要
 ⇒過去の参加者を対象としたアンケートを実施し、事業の進め方を検討予定

・参加人数が限られている。

年度	参加数	主な探検内容
H13	78	・九州新幹線摩田上トンネル ・武蔵岡線常盤トンネル
H14	74	・県民交流センター ・西鹿児島駅新幹線ホーム
H15	79	・西駅東口地下工事現場 ・武蔵岡線工事現場
H16	79	・宇治中飽地区土地区画整理事業 ・北部清掃工場
H17	113	・新北部清掃工場 ・天神公園雨水貯留施設整備工事
H18	113	・谷山第二地区土地区画整理事業 ・玉里中央公園雨水貯留施設整備工事
H19	81	・鹿児島東西線(新武岡トンネル) ・郡山中央土地区画整理事業
H20	133	・鹿児島東西線(新武岡トンネル) ・環境未来館
H21	117	・鹿児島東西線(新武岡トンネル) ・維新ふるさとの道
H22	120	・武蔵岡線(Ⅱ期)橋梁工事 ・平川動物公園リニューアル事業
H23	116	・高麗通線(Ⅱ期) ・鹿児島観光農業公園(仮称)
H24	132	・新武岡トンネル ・谷山地区連続立体交差事業
H25	122	・都市農村交流施設整備事業 ・谷山地区連続立体交差事業
H26	125	・幹線道路整備事業 五位野高野線(仮称) ・交通局施設リニューアル事業
H27	115	・郡山体育館新築工事 ・貯木橋橋梁整備工事
H28	128	・鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業「かんまちあ」 ・高齢者福祉セツク-伊敷・西部親子つどいの広場 ・谷山地区連続立体交差事業 ・鹿児島港新港区複合-貴輪送ターミナル改良事業
H29	127	・鴨池公園運動施設等整備事業 ・谷山地区連続立体交差事業 ・中央卸売市場 魚類市場再整備事業 ・桜島港フェリー施設整備事業
H30	128	・桜島国際火山砂防センター ・長谷川砂防事業 ・桜島港フェリー施設整備事業 ・中央町19・20番街区市街地再開発事業
R1	127	・国道10号鹿児島北バイパス ・河頭浄水場 ・奥之宇都線 宇都トンネル(仮称)本体工事 ・中央町19・20番街区市街地再開発事業
R2	-	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
R3	-	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(アウトカム)

実施後まちづくりに対する理解が深まった参加者の割合
 ※実施後アンケートより

年度	目標値	実績値	達成率
R1	98	99	101%
R2	—	—	—
R3	—	—	—

(実績値参考)
 29年度：94%
 30年度：97%



(インパクト)

将来を担う子どもたちのまちづくりへの興味や関心の向上

【事業概要】

- ・ 少年期の火災予防に対する意識付けや、広く市民に火災予防思想の啓発を図るため、「消防スケッチ大会」を開催し、優秀作品を活用したポスターの作成・配付等を行うほか、一日消防署長や作品展示会を実施する。
- (基本目標：自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち / 基本施策：命を守る危機管理・防災力の向上 / 単位施策：質の高い消防力の強化)

【事業評価】 ⇒ A：継続

消防に対する興味の深化や火災予防思想の普及啓発に必要な事業である。
 なお、より効果的な事業となるようICTを活用した広報・啓発に努めること。

(インプット)

R元年度：264千円
 R2年度：255千円
 R3年度：241千円



(アクティビティ)

- ・ スケッチ大会の開催(年1回・定員200人)
- ・ 優良作品の選出及び表彰
- ・ 防火ポスター作成・配付
- ・ 作品展示会
- ・ 最優秀賞児童に1日消防署長を委嘱し、広報活動を実施

(アウトプット)

■ スケッチ大会参加者数

(参加者数)

R元年度：265人
 R2年度：－
 R3年度：342人

※目標値＝実績値

※参加者は当日の申込者・保護者・兄妹含む
 ※R2は緊急事態宣言のため、中止

■ 防火ポスター配付数

(小学校・防火協力会)

年度	目標値	実績値	達成率
R1	88・708	88・708	100%
R2	88・708	88・708	100%
R3	88・708	88・708	100%

※市内の全小学校・防火連へ配付

■ 作品展示会の実施 (回数)

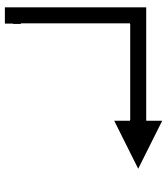
年度	目標値	実績値	達成率
R1	2	2	100%
R2	2	2	100%
R3	2	2	100%

※イオン・山形屋

■ 1日消防署長等の広報活動

消防演習の指揮やチラシ配布等

コロナ禍において大会の規模や回数の拡大が図れない中で、より広報効果を高めていく取組が必要



(アウトカム)

・ 消防に対する興味の深化

■ 第六次総合計画指標「災害に強いまちである」と感じる市民の割合

年度	目標値	実績値	達成率
R3	50	36	71%

・ ポスター、展示会による小学校児童、防火協力会加入世帯、市民への広報

■ 1日消防署長等による広報効果 (取材回数)

年度	目標値	実績値	達成率
R1	2	7	350%
R2	2	7	350%
R3	2	8	400%

(TV: 5回、新聞社: 2回)
 (TV: 5回、新聞社: 2回)
 (TV: 5回、新聞社: 2回、ラジオ: 1回)

(インパクト)

・ 市民への火災予防思想の啓発